



特集
おびひろの
子育て

子育てを みんなで 支えるまち

出産を終え、心身も不安定な産後期に、一生懸命育児に向き合っているお母さんたち。そんなお母さんたちの笑顔と、赤ちゃんの元気な泣き声や笑い声であふれているのは、3カ月児の赤ちゃんとその家族が集まる「すくすく教室」。「自分だけかな?」と思っていた不安な気持ちも、お母さん同士の交流を通して安心に変わっていく。妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない市の子育て支援を紹介します。



問い合わせ 子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9722)

すくすく教室に
参加した皆さん



子育て情報を配信 すこやかネット



▲こちらから

「帯広市すこやかネット」は、市が運営する子育て支援サイトです。妊婦や乳幼児のいる家庭向けに、妊娠・子育てに関するお知らせやイベント情報、関連動画など役立つコンテンツを配信しています。さらにマイナンバーカードを取得し登録すると、子どもの月齢・年齢に合わせた検診・予防接種情報がパソコンやスマートフォンに届きます。



親子で楽しめる「わらべうた」や「すくすく教室」の紹介など、子育てに役立つ動画を配信しています

■ **子育てアンケートから見た課題**

市が平成29年度、乳幼児健診時に行った「子育てに関するアンケート」に回答した人のうち、「現在、子育ては楽しい」と回答した人は97.7パーセントで、多くの保護者が前向きに子育てに取り組

んでいることが分かりました。その一方で、34.1パーセントの人が「子育てに自信が持てない」と回答し、育児に一定の不安を抱えている人がいることも明らかになりました。

子育てアンケートから見た課題

乳幼児期の子どもが心身の健康を育むためには、親への信頼を実感し、安定した環境で育つことが大切です。また、子育ての日々は、喜びや驚き、楽しさで満ちあふれ、子どもだけでなく保護者自身の成長にもつながります。

■ **それぞれに合った子育てを提案する新たな形**

すべての人が安心して子育てできるような、市は7月から、不安を抱える親が気軽に相談できる相談窓口の機能を強化し、関係機関の情報も含め、その人にとって最適な育児支援を提案する、「利用者支援事業」を開始しました。

おびひろ

Public Information OBIHIRO

平成30年
(2018年) **10**
No.1133
October

発行:帯広市
編集:政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

8月末の人口と世帯数

人口▶167,076人
(前月比+17人)
男▶79,670人
女▶87,406人
世帯▶87,610世帯
(前月比+54世帯)

8月の火災発生件数

2件(前月比±0件)

8月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,510t
(前年同月比-223t)
資源ごみ(Sの日)量 660t
(前年同月比+2t)

今月の紙面

市の決算と財政状況 6



決算は9月10日から開催の定例市議会にて審議されています。水道事業会計と下水道事業会計の平成29年度決算は8頁でお知らせします。

知っていますか?
クールチョイス... 9

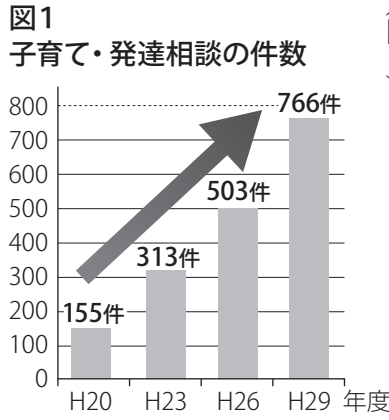
秋の火災予防運動... 11

ZOOレター... 20

帯広市の子育ての現状

帯広市は全国同様に少子化が進み、市の出生数は、平成2年には約2029人でしたが、平成29年には約6割の1299人まで減少しています。

一方で、市には、子育てに関する相談や、発達障害を含む特別な配慮や支援が必要な子どもに関する相談が多く寄せられており、相談件数は毎年度増加しています。(図1)



この要因として、核家族化により、家庭内に相談できる人がおらず孤立するなど、育児に対する不安や困難を抱える家庭が増加していることが挙げられます。

これまでの支援と課題

市では、これまでも関係機関と連携し、お母さんの産前産後をサポートする「ママと赤ちゃんの相談会」「帯広市産後ケア」や、先輩ママさんアドバイザーによる「ママさんおしゃべり広場」、子どもを預けられる人がおらず困ったときのための「一時保育」「ショートステイ」など、妊娠から子育てまでさまざまな支援を行ってきました。しかし、さまざまなサービスの適中から、保護者自身にとって最適

妊娠期から子育て期へ、切れ目のないサポート

新事業 利用者支援事業の取り組み

市の取り組みだけでなく、関係機関のサービスも含めて、その人にあったサービスを提案します。妊娠届け出時に保健師が「母性相談室」ですべての妊婦と面接し、周囲のサポート体制や、心身の状態など、その人の状況に合わせたセルフプラン「子育てプランシート」を一緒に作成し、妊娠・出産・子育てを継続して支えます。

子育てプランシート

さんと赤ちゃんのための子育てプランシート

作成日 年月日
母子健康手帳番号 No. _____
出産予定日 年月日

妊娠が分かった時の気持ち
どのような妊娠期を過ごしたいですか
赤ちゃんへのメッセージ

出産予定病院: _____

目標と心構え	妊娠初期				妊娠中期			妊娠後期			出産予定日 年 月 日		
	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月				
○ママの健康を守り、元気な赤ちゃんを産むために定期的に妊婦健診を受けましょう	初診 ① /	② /	③ /	④ /	⑤ /	⑦ /	⑨ /	⑪ /	⑫ /	⑬ /	⑭ /	□出生届(14日以内) (戸籍住民票)	
○妊娠期間を安心して過ごせるように、出産に向けて事前に準備を整えておきましょう	□禁煙しましょう(本/日 やめたい希望 あり・なし)	□禁酒しましょう(のんでいる・のんでいない)	□受診票を受け取りました	□出産病院を決める	□里帰り先の病院へ予約	□仕事先の妊娠出産に係る制度の確認	□上のお子様の産前産後の預け先	□出産にかかる費用の確認・調整	□ママと赤ちゃんの相談会 -妊娠中から参加できる講座(月 日)	□帯広市すこやかネットの登録	□体調不良時の対応	□上の7のおおまか分娩	□陣痛がきた場合の受診方法 □入院グッズの最終確認 □産院休業前の仕事の整理 □産院休業後の連絡先 □陣痛がきた場合の連絡方法 □入院・退院の準備 □産後の過ごし方の確認 □支援してくれる方へのお願い □入院中の家の管理
○これから始まる育児のイメージをもちましょう	連絡先: <input type="checkbox"/> 両親教室 →夫婦で育児について学べます(月 日) <input type="checkbox"/> 病院主催の講座や教室 <input type="checkbox"/> 両親教室の参加 <input type="checkbox"/> 病院受診の同行 <input type="checkbox"/> 産経の確認 <input type="checkbox"/> 帯広市すこやかネットの登録 <input type="checkbox"/> 体調不良時の対応 <input type="checkbox"/> 上の7のおおまか分娩										□乳幼児医療受給者証の申請(こども課) □児童手当の申請(こども課) □赤ちゃん誕生届出カードの提出(28日以内) □産後(子育て支援課)へ連絡(子育て支援課)へ連絡(子育て支援課)へ連絡(子育て支援課)		

例えば、初産婦さんにはお父さんと一緒に参加する「ほんわかファミリー教室」をプランに入れ、お父さんの妊娠期からの子育てへの理解・協力をおすすめします。

出産後の家族の協力は何より大切です。産後をイメージしながら、どんなサポートが必要になるのか、その人の状況にあわせた協力体制、サービスの活用について確認します。

つわりで思うように育児ができない、生まれた赤ちゃんが泣いてばかりでつらい...など、妊娠・出産・育児についての悩みや不安を、気軽に相談してください。

悩みや不安を軽減！ 母性相談室

★担当: 子育て支援課 ☎25・9722

◆妊娠、出産、育児に関する電話・来所相談
随時対応しています。

◆母子健康手帳の交付(予約制)
前日までに電話で予約。(転入者も含む)
交付時間: 平日9時~16時
(第2土曜日実施 ※祝日の場合は第3土曜日)



出産後

- ・赤ちゃん訪問
- ・ママと赤ちゃんの相談会
- ・帯広市産後ケア



妊娠中・出産後のサポート



妊娠中

- ・妊婦健康診査助成
- ・ほんわかファミリー教室
- ・ママと赤ちゃんの相談会

- ・不妊治療費助成
- ・不育症治療費助成

■ 出産後のサポート ■

赤ちゃん訪問

子どもを出産したすべての家庭に、母子訪問指導員(助産師)、保健師、地区担当保育士が訪問します。お母さんの心身面や子育てに関する相談に応じます。

帯広市産後ケア

市内の産後ケア施設で、助産師などのケアを受けられます

産後57日未満の産婦で、家族などから支援を受けられず、心身が不調な人が対象です。まずは保健師に相談してください。利用料金が掛かります。

- お母さんの産後の生活と体調についての相談
- 授乳方法やおっぱいのケアについての相談
- 赤ちゃんの体調や発育の確認
- 抱き方、沐浴、泣き止まないときの対応など、育児全般に関する相談

利用者の声

●久しぶりにゆっくり食事や入浴ができました。授乳についての指導も受けられ、気持ちが前向きになりました。



■ 妊娠中のサポート ■



初めての妊娠で楽しみもいっぱいですが、実家が遠方で、夫も仕事が忙しくいろいろ不安です。相談できる場所や、子育てを支援してくれるサービスを知りたいです。



ママと赤ちゃんの相談会

(産前産後サポート事業) 妊婦、産婦(0歳児)対象

妊娠中から子育てのイメージを具体的に知ること、不安をなくし前向きに育児できるよう、地域子育て支援センターなどで実施している相談会です。

妊娠~子育てまでの心配事に対して、助産師・栄養士・歯科衛生士などの専門家が相談に乗り、妊娠中・出産後のお母さん同士の交流もできる相談会です。10月の開催日時は16頁をご覧ください。



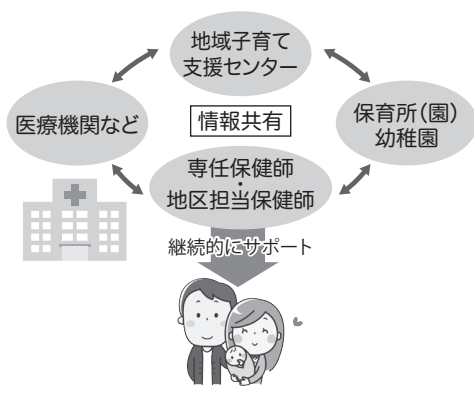
相談会の様子

参加者の声

●赤ちゃんがたくさんいて気持ちが和みました。こんなにかわいい赤ちゃんに出会えるなら、出産も頑張ろうと思えました。お母さんたちの育児を心強く感じました。出産後もまた来ます!

市は、今後も出産や子育てに関する不安や問題が深刻化する前に、気軽に相談ができ、切れ目のないサポートを受けられる環境を整えていきます。保護者と一緒に子どもの成長や喜び、楽しさを分かち合いながら、さらに安心して子育てができるまちを目指します。

図2 利用者支援事業のイメージ



帯広市が目指す
子育てサポート

な育児支援情報を自ら収集・選択することは難しく、抱えた問題が深刻化してしまう恐れもありました。

7月から新たに「利用者支援事業」を開始

市は、子育ての現状や、これまでのサポート体制の課題を踏まえ、「母性相談室」の機能を強化し、相談者に寄り添い、相談者自身の状況や家族の状況に合わせた「子育てプランシート」を作成し、最適なサービスを提案する「利用者支援事業」を開始しました。

これにより、必要な支援の調整や関係機関との連絡を行う保健師を中心に、妊産婦の状況を継続的に把握する、切れ目のない支援を行えるようになりました。(図2)

知っていますか?
地域子育て支援センター



地域子育て支援センター詳細

人が多いところは苦手だけど、子どもを遊ばせたいな



市内6カ所の保育所(園)に併設された地域子育て支援センターでは、各種「広場」や「子育て講座」、「ぴよぴよ広場」を開催しています。妊娠中の人や、保護者と子どもが気軽に参加し、子育ての情報交換や、悩みの相談、共有ができる場です。

人がたくさんいる場所が苦手な保護者や子どもは、少人数の予約制広場でゆっくりと遊んだり、相談をすることもできます。



少人数広場(予約制)

◆地域子育て支援センターつばさ
(西22南3、☎41・6800)

- ・つばさ遊びの広場
第2・4水曜日 13時～15時
- ・つぐみ広場
第3水曜日 13時～15時
(第1子の満1才～満2才の子どもの少人数広場)

◆地域子育て支援センターこでまり
(西14北2、☎38・2690)

- ・はなばたけ
毎週火曜日 13時～15時
- 第1・3木曜日 9時～12時
13時～15時
- 第2・4木曜日 13時～15時

◆地域子育て支援センターいなだ
(西15南40、☎48・2206)

- ・キラキラ広場
第1水曜日 9時～14時
(2歳～就学前の子どもの少人数広場)

◆地域子育て支援センターもりのこ
(大空町1、☎49・2005)

センターで開催されている広場の中で対応



もりのこ広場の詳細

◆地域子育て支援センターすずらん
(柏林台西町5、☎36・2388)

- ・わいわい広場
毎週木曜日 12時30分～15時30分

◆地域子育て支援センターあじさい
(東9南19、☎67・6231)

- ・ぼっぼ広場
毎週月曜日 12時～14時
毎週金曜日 9時～17時



子どもが人見知りだけど少ない人数の中で遊んでいるうちに、集団に慣れてきて良かったです



就学前

- ・幼児歯科健診、フッ素塗布
- ・一時保育・発達相談室
- ・ショートステイ
- ・帯広ファミリーサポートセンター事業



就学前・乳幼児期のサポート



乳幼児期

- ・すくすく教室
- ・乳幼児健診
- ・地域子育て支援センター
- ・すこやか親子教室
- ・あそびの広場

就学前のサポート

乳幼児期のサポート



一時保育(宿泊なし) ★担当:こども課 ☎65・4158

生後57日目～就学前まで(こでまり保育園は1歳から)

「子どもの学校行事の日に下の子を預けたい」ときや「保護者の通院」「リフレッシュしたい」ときなどに利用できます。

事前に登録が必要です。申込受付:月～金曜日、9時～16時30分
利用申し込みは利用日の前月の1日から、利用日の原則3日前まで。
半日または1日単位で利用料金が掛かります。

直接電話で、下記実施場所へ問い合わせください

- こでまり保育園(西14北2、☎38・2690)
- すずらん保育所(柏林台西町5、☎36・2388)
- 豊成保育所(清流東1、☎48・6630)



ショートステイ ★担当:こども課 ☎65・4159

病気や育児疲れなど、保護者が家庭で子どもを養育することが困難になったときに、満1歳以上のお子さんを十勝学園(東9南21)で預かります。利用期間は7日以内で、利用料金が掛かります。事前申請が必要なので、詳細はこども課まで問い合わせください。



悩みや不安を解消!
先輩ママさんアドバイザー

子育てサークルのリーダーを経験したお母さんがアドバイザーとなり、子育てサークルの運営支援や、子育て中のお母さんたちに「パパママおしゃべり広場(子育てサークル体験編と保育所(園)・幼稚園編)」を開催しています。(写真)
また、サークルに入会したい人のための「サークル紹介」冊子や、子育て家庭向けの「子育てあれこれ便利帳」も作成しています。



入園グッズや幼稚園情報を教えてください



子育てサークルの詳細



- 子育てあれこれ便利帳
子どもと一緒に行きやすい飲食店や、美容室など子育て中のお母さんたちの実体験に基づくおすすめ情報が盛りだくさんです。子育て支援課で配布しています。



子育て応援ボランティア

地域子育て支援センター・保育所(園)・幼稚園で遊びの見守りや環境整備のほか、各種イベントで人形劇や手品など、子どもたちを楽しませてくれます。



子育て応援ボランティア詳細



子育て応援事業所 従業員や市民向けに、子育てを応援するための取り組みを実施することを宣言した事業所です。270社が登録しています(9月1日現在)。子育て世帯に対して、商品や施設利用の割引きを行っている事業所もあります。

